

学習指導要領	都立豊多摩高校 学力スタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開、主要な内容を筆者の主張などを要約の作業などを通して的確にとらえ、その論理性について分析、考察して批評することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や評論において、主張や補足・反証などの関係や段落の構成を的確にとらえ、それぞれの働きや関係の分析を通してどのように論が展開されているか説明することができる。</li> <li>・小説における構成要素を確認し、全体の話の流れを捉えることができる。場面や人物の設定がその後の話の推移にどのように関わっているかを把握し、適切に説明することができる。</li> <li>・構成や展開の仕方をたどりながら、工夫され際立たせられている点に着目し、分析や考察ができる。</li> <li>・登場人物の言動、心情の変化、ものの見方、感じ方などを整理し捉えることができる。</li> </ul>
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、筆者の意図を理解したり、人物、情景、心情の描写などをイメージしたりしながら、叙述や表現の優れた点を十分に感じ取り、深く味わえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や評論において、筆者の主張や意図を、筆者の論の進め方に着目しながら理解し、執筆動機に迫ることができる。</li> </ul> <p>中島敦『山月記』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の人物像や心情の変化について、作者の意図を意識して的確に読み取り、説明することができる。</li> <li>・漢語や和語の美しさやリズム、叙述や表現の巧みさなどを感じ取り、的確に説明することができる。また、表現に即した朗読などを通して作品への理解を深めることができる。</li> <li>・「人虎伝」との構成・表現の比較で、『山月記』が筆者によってどのような意図で書かれたかを分析、考察することができる。</li> </ul>
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>さまざまなジャンルの文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を多角的な視点から評価しながら、自己の人間観、社会観、自然観などを確立することができる。</p>

学習指導要領	都立豊多摩高校 学力スタンダード
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとりえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、視点や評価の異なる文章と比較しながら、その特色や価値を多角的に論じることができる。</li> <li>・文章を読んで自分の考えを深め、人間観、社会観、自然観などの確立に結び付けることができる。</li> </ul> <p>目的や課題に応じて、適切に収集した情報の分析、整理を通し、作成した資料を効果的に用いて、論拠を示しながら、自分の考えを述べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や課題に応じて、どのような資料を何によって得るかを考え、事典、新聞、書籍やウェブページなどで調べたりして、与えられた条件にふさわしい情報を収集することができる。</li> <li>・収集した情報を的確に理解し、いくつかの資料を比較する中で適切な価値判断をし、自分の考えを効果的に表現するための資料を作成することができる。</li> <li>・作成した資料を活用して、自分の考えを、論拠を明確にししながら、目的や場にふさわしい効果的な方法で表現することができる。</li> </ul> <p>語句の意味、用法についての的確に理解し、文体の特色や表現技法、語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら、自分の表現や推敲に活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章について、語句の意味・用法を的確に理解し、また効果的に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち難解なものの意味を正しく理解し、また、このうち頻出するものについては適切に用いることができる。</li> <li>・新聞の社説や新書などを正確に理解することができる。</li> <li>・比喩、反復、倒置、省略、対句などについて理解したうえで、文章中の技法とその効果について説明するとともに、自らも適切に用いることができる。</li> <li>・文章を読解する過程で、効果的な用語や引例、論の構成、展開の着実性や意外性など、良い点を指摘し、自分が表現し推敲したりする時に用いることができる。 (本スタンダードは2、3年共通のものである。)</li> </ul>